

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月13日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【窒素ガス分離装置(A)自動停止について】</p> <p>原子炉へ窒素ガスを供給する窒素ガス分離装置(A)が運転中に、警報「窒素ガス(A)機器異常」が発生し、窒素ガス分離装置(A)の自動停止を確認。</p> <p>窒素ガス分離装置(B)による1台運転となったが、各パラメータを確認した結果、プラントへの影響がないことを確認。その後、窒素ガス分離装置(C)を起動し、通常状態へ復帰。</p> <p>なお、当該設備は取替工事を実施中で、12月10日に新しい設備への切替が完了したことから運用停止となった。今後、原因調査予定。</p>	GⅢ	12月8日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(B)入口温度計指示不良について】</p> <p>運転中の雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(B)において、入口温度計の指示値が瞬時に上昇し、「焼却炉入口温度高」が発生。その後、指示値は正常値に復帰。</p> <p>雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(B)の運転状態に異常は認められないことから、入口温度計の単品不良と推定。現在、雑固体廃棄物焼却設備の焼却炉(B)については入口温度の監視強化を行いながら運転を継続中。</p> <p>今後、設備の停止に合わせて、入口温度計の点検を実施予定。</p>	GⅢ	12月6日
3	<p>【逆浸透膜処理ユニット3淡水化処理装置原水ポンプ1の軸受部より異音の発生について】</p> <p>逆浸透膜処理ユニット3淡水化処理装置原水ポンプ1の軸受部より異音が発生していることを確認。</p> <p>予備機を起動した上で、当該設備を停止し、系統機能に問題がないことを確認した。</p> <p>今後、点検・修理予定。</p>	GⅢ	12月9日
4	<p>【ろ過水純水設備の空気抜き管排気口のボルト・ナット腐食について】</p> <p>ろ過水純水設備の空気抜き管排気口のボルト・ナットが腐食していることを確認。</p> <p>外観目視点検の結果、腐食の状態は機能上、問題がないことを確認。</p> <p>今後、点検・修理予定。</p>	GⅢ	12月10日